



南国の香り漂うグアバ この香りを全国に届けます



ビタミンC含有量は果物の中で2番目に多いグアバ

マメちしき
ビタミンC豊富な
「グアバ」



フトモモ科。亜熱帯性の植物。
果実は強い特徴的な香りを持ち、ビタミンCはなんとレモンの2.2倍。その他、ビタミンE、ミネラル、カリウムなど栄養が豊富に含まれている。
葉に含まれるポリフェノールは、高血圧や糖尿病などの予防に効果があるとされ、グアバ茶としても利用される。



福島地区・上小路
おなぎ なりあき
大迫 成長さん
果実は淡いピンク色で、果肉が多く、桃を思わせるまろやかな味がします。

南 国情緒あふれ、芳醇な香りが魅力のフルーツ「グアバ」。福島地区・上小路にお住まいの大迫成長さんは、都井地区・恋ヶ浦で、串間ではあまりなじみのないグアバを栽培しています。
父である幸二さんが、34年前にグアバの栽培を始め、成長さんも10年前から栽培に関わるようになりました。「小さい頃から収穫の手伝いをして、ずっと父の背中を見ていたので、大きくなったら自分もグアバを作る人になるんだと自然と思っていました」と幼い頃からの夢をかなえた成長さん。
1本の木で約千個の実がなるグアバ。年中収穫が可能で、8月中旬〜9月末が旬の時期。薄いピンク色の果肉が多く、皮ごと食べ

られる果実ですが、完熟すると3日ほどしか日持ちしません。そこで、果実を生搾りしてドリンクやジャムなどに加工しています。成長さんは「最初は知識もなく、何もかも手探りの状況でした。天候に左右されながらも、父と一緒に試行錯誤を繰り返して、ようやく今の製造方法を確立できました」と数々の苦労を重ねた様子。
今では全国からお客さんが訪れるほどの大人気。「全国から感謝の声をいただくのがうれしい。これからも感謝の気持ちを忘れずに挑戦していきたい」と力強く話してくれました。
実は皮ごと食べられ、葉はお茶として飲まれるグアバ。串間からその魅力を全国へ届けています。



フォークサウンドに想いを込めて 心に沁みる歌声と演奏で聴く人を魅了

女

性2人のコーラスと楽器演奏を中心とし、懐かしのフォークサウンドを奏でる6人組フォークバンド「アップルシスターズ」。音楽好きの仲間で結成され、活動は11年目を迎えました。メンバーの平均年齢は還暦を超えますが、「心の旅」や「あの素晴らしい愛をもう一度」など昔懐かしいフォークソングを今に伝えようと活動を続け、定期的にイベントなどでライブ活動を展開しています。

「楽器の生音と女性コーラスがこだわり」と話すのはリーダーの岡留久幸さん。アコースティックギター、フルートそしてウッドベースの演奏に、坂元喜久枝さんと岡留妙子さんの深みのあるコーラスが折り重なります。
みんなで集まって行う練習は週一回。「子育ても終わり、自分の時間ができたことで、楽しくバン

ド活動ができています」とメンバーは話します。
長年の活動でファンも着実に増え、最近では同窓会などでの演奏依頼もあるそうです。「発表する場があることがうれしいし、モチベーションにもなる。新しい曲にも挑戦して、これからも健康である限り歌い続けたいですね」と笑顔で話してくれました。

6人が織りなす懐かしのフォークサウンド。聴きながらあの頃の青春時代に思いをはせてみるのもいいかもしれません。



アップルシスターズの皆さん
次回のライブは10月11日(日)の「キャンドルナイトinくしま」です。ぜひ聴きにきてください。



音楽イベント「くしま音遊散歩」にて

ボーカル: 坂元喜久枝さん、ギター&コーラス: 岡留妙子さん、フルート: 百野真弓さん、ギター: 岡留久幸さん、ギター: 吉田英明さん、ウッドベース: 中川研児さん